



「第36回丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ大賞展)」 一般の部 入賞者決まる!

第36回丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ大賞展)・一般の部審査会を、去る8月29日(木)に実施し、応募作品数80点から、グランプリ(文部科学大臣賞)以下11点の入賞者を決定しましたのでお知らせします。

また、9月7日(土)から9月22日(日)までの間、全ての出展作品を丹波年輪の里 木の館ホールにおいて展示するとともに、前回 一般の部グランプリ作者(神谷孝弘氏)による個展を同会場にて同時開催いたします。

表彰式は、10月27日(日)13時30分から行います。

なお、グランプリ以下入賞作品の審査講評は、9月6日(金)夕方以降にご用意できません。また、写真撮影については、9月6日(金)から可能ですので取材をお願いします。入賞結果はホームページにも掲載する予定です。https://nenrin.org/w_craft/

記

- 応募状況**

| | |
|-------|-------------|
| 出展作品数 | 80点(前回:73点) |
| 出展者数 | 73名(前回:63名) |

(北海道から沖縄まで22都道府県からの応募があった。前回:19都道府県)
今年からWEBでも申込み可能とした(WEB申込み数20件)
- 入賞者**

別紙(参考)

 - ・今回のテーマ別部門のテーマは「バランス」で、80点中33点がテーマ作品であった。
 - ・「親子で遊べる木のおもちゃ作品部門」は、80点中12点であった。
 - ・学生からの出展38点の中から「学生賞(丹波市製材協会賞)」が選ばれた。

若い世代の活躍に期待が寄せられている。
(参考)学生出展数35名、38点(前回23名、23点)
- 審査員**

| | | |
|-------|-------|---------------------|
| 審査委員長 | 渋谷 寿 | (名古屋女子大学教授) |
| 審査員 | 尾崎 織女 | (日本玩具博物館学芸員) |
| | 中井 秀樹 | (プロダクトデザイナー) (50音順) |
- 展示期間**

令和6年9月7日(土)~9月22日(日)
9:00~17:00 最終日は15:00まで
休館日は月曜(月曜祝日の場合は翌平日)

なお、展示期間中、来場者による作品（入賞作品以外）の人気投票を行います。

選ばれた作品の出展者と、投票者の中から1名に丹波の特産品（スイーツ）を贈呈。

- 5 表彰式 令和6年10月27日(日)13:30～
(於)丹波年輪の里 木の館・研修室
- 6 主催 丹波の森ウッドクラフト展実行委員会
- 7 共催 兵庫県、丹波市、(公財)兵庫丹波の森協会
- 8 後援 丹波篠山市、兵庫県教育委員会、丹波市教育委員会、丹波篠山市教育会、(公財)兵庫県芸術文化協会、朝日新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、読売新聞豊岡支局、産経新聞社、神戸新聞社、丹波新聞社、NHK神戸放送局、三木工業協同組合、(公財)森林文化協会、丹波市観光協会、丹波市製材協会（順不同）

別紙

入賞結果 下記のとおり (入賞者敬称略)

グランプリ (文部科学大臣賞)

入賞者：安森 優 (山口県長門市)

作品名：探検ゆらゆら海賊船

準グランプリ (兵庫県知事賞)

入賞者：佐藤 敏男 (埼玉県鴻巣市)

作品名：走れ輪太郎

優秀賞 (丹波市長賞)

入賞者：安森 弘昌 (兵庫県神戸市)

作品名：MUCCO

優秀賞 (丹波市議会議長賞)

入賞者：大森 恵 (兵庫県丹波市)

作品名：宇宙の飛行士おととと

優秀賞 (丹波市教育長賞)

入賞者：橋本 澄夫 (広島県東広島市)

作品名：なつかしのボンネットバス

新人賞 ((公財) 兵庫丹波の森協会理事長賞)

入賞者：中村 祐人 (横浜国立大学)

作品名：によきによきしめじ

特別賞 (三木工業協同組合理事長賞)

入賞者：石橋 陽稀 (ものづくり大学)

作品名：R i P P O

佳作 (丹波の森ウッドクラフト展実行委員長賞)

入賞者：久保 進 (神奈川県伊勢原市)

作品名：ツムツム君

佳作 (丹波の森ウッドクラフト展実行委員長賞)

入賞者：大森 栄司 (兵庫県丹波市)

作品名：さんぼ

佳作 (丹波の森ウッドクラフト展実行委員長賞)

入賞者：松澤 政彦 (大阪府富田林市)

作品名：グリーン・グラス・ダーツ

学生賞 (丹波市製材協会賞)

入賞者：荒井 一冴 (金沢科学技術大学校)

作品名：からくり宝箱

出展作品数 80点

出展者数 73名

グランプリ（文部科学大臣賞）

探検ゆらゆら海賊船 安森 優（山口県長門市）



（作者コメント）

迷路になった船内をスタートの見張り台からゴールの小船へ、コロコロと玉を転がしていきます。2人から4人での協力作業が必要なおもちゃです。船首と船尾、または右舷と左舷など持つ場所や人数で難易度が変わります。最後まで気を抜かず、相手と息を合わせながらゴールを目指そう！

| 発表者名 （担当者名） | 連絡先電話番号 |
|-------------------------------|--------------|
| 丹波年輪の里 館長 村上 佳邦 企画担当 足立 文代 | 0795-73-0725 |